

講義名	航空事業経営論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	栗原 正憲		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	44073

主題と概要

航空事業経営論(旧カリキュラムでは交通事業経営論)では、観光を支える交通事業全体を俯瞰した上で、国際観光ビジネスの視点から航空事業経営を中心に学修する。グローバルビジネスを展開する航空会社はどのような企業活動を行っているのか。最新のトピックスを幅広く取り上げ、航空業界を取り巻く環境を理解し、航空会社の様々な戦略や事業内容を学ぶ。航空会社の企業戦略を通して、世界情勢や現代社会を読み解く力を養う。

到達目標

交通産業の全体像や航空業界の基礎知識、最新の航空情勢を学び、これからの航空輸送事業を展望できる。特に航空会社の多様なビジネス戦略を学び、ビジネス社会における企業の戦略的思考やマーケティング発想を理解できる。航空会社の様々な業務内容を学び、航空業界への理解を深め就業意欲が高まる。

提出課題

毎回授業で小レポートの提出を求める。授業のまとめとして、期末試験を実施する。

評価の基準

平常点 (小レポートと授業への参画姿勢)	50%
期末試験	50%

履修にあたっての注意・助言他

観光産業への就業志望者、航空業界の研究に意欲を持つ学生の履修を期待します。航空事業経営に関する知識、情報を積み重ねていく授業であり毎回出席すること。履修学生の学習の妨げにならないよう、授業開始15分後に施錠します。教室内での携帯使用の禁止、脱帽の徹底を求めます。この授業は座席指定とします。第1回目の授業において、講義の進め方、評価方法、小レポート等授業概要を説明するので必ず出席すること。

教科書

・「使用しない」。

プリント資料及び参考文献

必要箇所をプリント資料として配布し、パワーポイントを使用して授業を進行する。参考文献は、適宜講義内に紹介する。

授業計画

1. ガイダンス
2. 観光交通事業全般
3. 航空の基礎知識と歴史
4. 空港政策と空港運営
5. 航空の自由化 (世界の航空業界)
6. 航空の自由化 (我が国の航空業界)
7. 航空産業の事業特性とレベニューマネジメント
8. LCCの台頭とビジネスモデル
9. 航空の企業戦略 (ネットワーク)
10. 航空の企業戦略 (アライアンス、FFP)
11. 商品企画と営業活動
12. 空港オペレーション業務
13. ゲストスピーカーによる「最新の航空ビジネス事情」
14. 航空貨物事業
15. 航空会社の社会的責任(CSR)と環境対策

予習・復習

航空業界は、航空の自由化が推進され、世界最先端の技術開発とグローバルな競争の中にある。常に観光・交通・航空関連ニュースに関心を持ち、予習(2時間)として最新情報収集に努めること。また、授業で配布するプリントの穴あき箇所を中心に復習(2.5時間)しながら授業でわからなかった箇所を理解できるようにして、質問事項などを整理して次の授業に臨むこと。

備考